



## 水抜栓の水抜きのおくみ

水抜きハンドル(①)を閉め、蛇口(②)を開けると、立上り管(③)に空気が入り、水が下に落ちていきます。凍結深度以下まで落ちた水は水抜栓(排水部)で排水(水抜き)されます(④)※1。

これにより、凍る可能性のある「凍結深度より上にある配管(立上り管)」に水がなくなるので、凍結を防ぐことができます。

※1 水抜栓は、水抜きハンドルを操作すると、1次側の水を止水し、同時に2次側の水だけを排水(水抜き)するものです。万が一、漏水が起きた場合にも止水栓として利用できるのも、とても便利に使えます。

※2 吸気弁を設置しておく、自動的に配管に空気が入るので、万が一蛇口を開け忘れた時にも安心です。

### ◎不凍水抜栓／操作方法

#### ■水抜き操作(凍結防止)

1. 水抜きハンドルを”水抜”方向(右回り)に止まるまで回します。
2. 水栓金具(蛇口等)を開けます。(水が抜けます)  
※シングルレバー混合栓の場合、レバーを中央位置にしてから開けてください。  
空気を吸入しないと水は抜けません。
3. 水抜きが終わったら、水栓金具を閉めます。

#### ■通水操作

水栓金具(蛇口等)が閉じていることを確認する。

1. 水抜きハンドルを”通水”方向(左回り)に止まるまで回します。(通水状態になります)  
※水栓金具(蛇口等)を操作してお使いください。

※注意:通水操作直後は水栓金具(蛇口等)から水が飛び散ることがあります。